

THE ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA-NORTH

第2770地区 第8グループ 越谷北ロータリークラブ

2025-26 年度国際ロータリーテーマ 「よいことのために手を取りあおう」 RI 会長 フランチェスコ・アレツツォ

2025-26 年度越谷北 RC 会長提言 「原点回帰 未来へ繋ぐ・奉仕を楽しむ」 越谷北 RC 会長 関 雄二郎

- 例会日 毎週水曜日 12:30~13:30
- 例会場 越谷市千間台東インペリアルビル 4 階
TEL 048 (975) 9898
FAX 048 (977) 3741
- 創立 1976 年 5 月 11 日

- 会長 関 雄二郎
- 副会長 須賀 篤史
- 幹事 新 沼 徹
- 会報委員長 黒田 幸英

第2383回 例会記録 No. 3

令和7年7月16日

司会: 中村 隆雄 編集: 近藤 慎悟

会次第

1. 点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ロータリーの目的
4. お客様紹介

RI2770 地区第8G ガバナー補佐 大熊 正行 様

同 補佐幹事 近藤 慎悟 様

一般社団法人越谷青年会議所 理事長 吉田 将光 様

同 専務理事 林 大輔 様

同 副理事長 厚川 雄太 様

同 まちあそび委員長 遠藤 隆行 様

5. 副会長挨拶
6. 幹事報告
7. お客様挨拶
8. 雑誌記事紹介
9. 委員会報告
10. ガバナー補佐卓話
11. パスト会長卓話
12. 出席報告

【次回例会案内】

令和7年8月20日

ロータリーの目的/3分間ロータリー情報

イニシエーションスピーチ 三上 圭介 会員

会員卓話「戦争に関する卓話」 太田 靖彦 会員

副会長挨拶



須賀 篤史 副会長

皆さまこんにちは。本日、関会長がお休みのため私が代行させていただきます。まず初めに関会長より手紙を預かってきておりますので読ませていただきます。

● 関会長の手紙

本日はご多用の中、第8G ガバナー補佐、大熊正行様、同補佐幹事近藤慎悟様、ならびに未来を担い越谷市の発展と人と人との繋がりを大切にご活躍されている越谷青年会議所より、吉田理事長、林専務理事、厚川副理事長、遠藤まちあそび委員長の皆様にご臨席を賜り誠にありがとうございます。

せっかくの機会でありながら、私事で恐縮ですが、本日家族の出産予定日と重なっておりやむを得ず欠席させていただきます。

尚、当クラブにおきましては本年度創立50周年を迎えましたが、奇しくも越谷市民祭もコロナ禍の影響を受け、今年が第50回の節目となること、こうした重なりにかしらの縁を感じずにはられません。



ご挨拶がこのような形になりましたことを深くお詫び申し上げますとともに本日の例会が実り多きものとなるよう心より願っております。

● 須賀副会長挨拶

思えば 5 年前、私も自分が会長年度に娘を出産しました。5 年前はコロナ真っ只中のため立ち合いをすることはできませんでした。その娘は元気にすくすくと成長をしており 9 月で 5 歳になります。

北ロータリークラブ 50 年の歴史の中で、自身が会長年度の時に出産するのは今のところ私と関会長だけかと思います。これから会長をやる予定の方はぜひ会長年度ベビーを狙ってみてはいかがでしょうか。

さて、今日は毎日暑い日が続いておりますので熱中症対策について少しお話させていただきます。テーブルに経口補水液をお配りしましたが飲まれましたでしょうか。本来これはどちらかという飲みにくいと思いますがこれを飲んで美味しいと思ったら体の渇きがあるということです。ちなみに私は先日レース後に飲みましたが薄く感じました。つまりそれだけ脱水していたのだと思います。

人間は汗をかくと水分の他に電解質が体から失われます。水を飲むだけでは多少の渇きは取り戻せますが電解質が足りなくなります。電解質が足りなくなると頭痛や吐き気、けいれん、脱力、足つり、そして重症化すると不整脈や心停止の危険性があります。電解質とは主にナトリウムやカリウム等です。この OS1 は電解質が入っており、熱中症対策には適しております。

私はトライアスロンをしておりますが、この真夏の真昼間に 3 種目の運動をしますので少し気を付けており、先日自分がどのくらい電解質が失われるかスウェットテストをしてきました。私の場合 1 時間レースペースで運動すると約 1 リットルの汗をかき、1 リットル当たり 80mg でした。

この OS1 は 500ml あたり 57mg です。少し足りませんのでこのようなタブレットを利用しております。バイクパートの予想時間で逆算しては 3 時間なら 3 リットルの水分とそれに見合った電解質タブレットを入れて対策しております。

ちなみにポカリスエットは OS1 の半分の電解質、アクエリアスはその半分です。暑い中ゴルフ等される場合はしっかりと補給するようにしてください。おそらくあと 2 か月はこの暑さ続くかと思われますので、くれぐれもご自愛くださいまして夏を乗り切りましょう。

さて本日の卓話は大熊さんと青木さんによる 50 周年に関する卓話です。新しい会員の皆様もクラブの歴史を知る良い機会になるかと思います。

以上で私の挨拶とさせていただきます。本日もよろしくお願いいたします。

幹事報告



新沼 徹 幹事

(地区より)

- ・越谷南ロータリークラブ、東ロータリークラブより年度計画書が届いております。事務局のところに置いておきます。

(クラブより)

- ・年度計画書が出来上がって参りました。本日皆様方にお配りさせて頂いております。
- ・杉本さん、小池さんの入会が理事会にて承認となりました。本日より掲示板に掲載させて頂きます。2 週間掲載をさせて頂き異議申し立てがない場合は 8 月 6 日に入会式を予定させて頂きます。
- ・事務局杉山さん、伊丹さんに上期の賞与とお給料をお支払いさせて頂きました。
- ・前期年会費を多くの方々からお納め頂いておりますが若干まだお納め頂けてない方がおられます。お納め頂けますよう宜しくお願い申し上げます。

- 2 -



お客様挨拶



一般社団法人越谷青年会議所

理事長 吉田 将光 様

皆様、こんにちは。ご紹介に預かりました今年度越谷青年会議所の理事長を務めておりまして第50回越谷市民まつりの実行委員長を仰せつかっております吉田将光でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

本日は、須賀副会長を始め越谷北ロータリークラブの皆様、例会中の貴重なお時間の中でこのようなご挨拶の機会を頂きまして誠にありがとうございます。

先程ございましたが、諸先輩方が第1回から交通安全パレードを基に発展して参りました越谷市民まつりも半世紀を超え、第50回の節目となります。コロナ禍の影響で一年間ズレがございましたが、無事盛況のうち50回を迎えることができました。越谷レイクタウン周りで行いました、日光旧街道・越谷市役所周りで行ったりどんどん形を変えていきましたが、今年度に至りましては、初心に振り返るということで、今まで5年間行われておりませんでしたパレードを復活させて頂きたいと思います。交通安全という名目では第47回の時に一度これは外れましたが、越谷市の方では特別詐欺被害等の問題がありますので、今回は防犯啓発パレードという形で復活させて頂きます。皆様、奮ってのご参加お待ちしております。

毎年、越谷北ロータリークラブの皆様におかれましてはふわふわスライダーの方で子どもたちに大きな印象を与えて頂いております。今年度はさらに、ヒーローショーをお請け頂けるというお話も聞いておりますので、誠に実行委員会として嬉しく思っております。

我々越谷青年会議所が実行委員会として行っておりますが、やはり市民まつりのような大きなものは皆様のご

協力なくしてはできないものだと思っております。我々に至らない事も多々ございますが、ご指導ご鞭撻の上、一緒に越谷市民まつりを成功させて頂ければと思いますので、何卒本日もよろしくお願い致します。

そして、この後は市役所へ我々の方からご案内に行きますが、やはりお祭りとして先立つものがございまして、市内各団体そして企業様含めまして、協賛金のお願いも致しておりますので、併せてご協力頂ければ幸いです。

それでは、本日の例会が皆様の多大なる学びとなることをご祈念しまして、私の挨拶とさせていただきます。



同 専務理事 林 大輔 様

今年度専務理事をさせて頂いております林でございます。市民まつりでは事務局長として働かせて頂いております。吉田実行委員長の下、強い思いをもって越谷市民まつりを活動しております。

実行委員長の想いを成し遂げられるように邁進していきますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。



同 副理事長 厚川 雄太 様

越谷青年会議所副理事長の厚川と申します。今年度



市民まつり副実行委員長を仰せつかっております。

諸先輩方が築き上げて頂きました市民まつりを吉田実行委員長と共に大成功に納められるよう実行委員会として邁進して行きますので、皆様よろしくお願い致します。



同 まちあそび委員長 遠藤 隆行 様

初めまして。まちあそび委員会の委員長を仰せつかっております遠藤と申します。

青年会議所としてもエントランス棟で事業を行いますので、是非お時間ある時に皆様来て頂いて 50 回の市民まつりを盛り上げられたらと思っております。よろしくお願い致します。



RI2770 地区第 8 グループ
ガバナー補佐 大熊 正行 様

皆さんこんにちは、

この度 2025~2026 年度 国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループガバナー補佐を務めさせていただきました大熊正行と申します。言うまでもなくいわずと知れた越谷北ロータリークラブ所属でございます。改めて一年間何卒よろしくお願い申し上げます。

日頃から様々な場面で公私ともにお世話になってい

る当クラブの会員の方々にこの場をお借りして改めて厚く御礼を申し上げたいと思います。また本日は、新年度始まったばかりの関会長年度の貴重な例会に表敬訪問という形でお邪魔させていただき誠にありがとうございます。

関会長は奥様の出産を控えているということで本日はお休みということですが 関会長・新沼幹事遅ればせながら 会長・幹事のご就任改めておめでとうございます。越谷北クラブさんの活発な活動・運営にまさしくけん引役として大いに尽力されるものと確信しておりますのでガバナー補佐としても当クラブの 1 会員としても微力ながらお手伝いできることがありましたら当然ながらしっかりと応援させていただきたいと思ひます。

越谷北クラブさんといえば昨年度から今年度始まりにかけて大変多くの会員増強を達成されておまして、大変うれしく喜ばしい限りであります。今年度創立 50 周年を迎えるクラブに若い会員さんたちが新しい息吹を吹き込み益々大いにクラブが活性化されて将来に向けても大変楽しみだなと感じさせられます。さて、既に皆様ご存じで有ります、RI 会長が当初の「マリオ・セザール・マルティンス・デ・カマルゴ」さん(ブラジル)から「フランチェスコ・アレツツォ」(イタリア・矯正歯科医)の方になったとこのことで、世界中を驚かせて戸惑いや困惑をさせたことも、もう何事もなかったかのように過ぎ去ってしまひまして普通に新年度が始まってしまった感じですね。そしてマリオ会長予定者のメッセージであった「UNITE FOR GOOD よいことのために手を取り合おう」はそのまま継承されるとのことです。このメッセージは、政治、地理、イデオロギーでますます分断されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕活動を通じ、ロータリーは、様々な背景を持つ人々人種、宗教、職業を超えて、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動していきましようとの思いが込められております。RI 会長が変わりましても各クラブの運営や活動計画などは変わらないものだと思いますし、2770 地区におきましても熊木雄太郎ガバナーはクラブの活性化と会員増強・維持をセットと考え一年間活動してほしいとの考えを強く示しておりますので皆



様にもそのへんのところをご理解いただきまして、越谷北クラブさんの一年間の活動が効果的で有意義になりますことを願ひましてまともりませんがガバナー補佐としてのご挨拶とさせていただきます。

また、最後になりますが大変若いのですが、地区出向経験も知識も豊富でガバナー補佐幹事を快く引き受けてくださいまして、各種資料作りや各クラブ会長・幹事や地区や関係機関などとの連絡調整、確認事項などに大車輪の活躍をしてくれて大変心強く頼もしい存在の近藤ガバナー補佐幹事ともども頑張って参りますので重ね重ね一年間どうぞよろしくお願い申し上げます。

本日は貴重なお時間を頂戴しまして誠にありがとうございました。



同 ガバナー補佐幹事 近藤 慎悟 様

皆さま、こんにちは。本年度ガバナー補佐の大熊さんと共に一年間を歩んでいきますガバナー補佐幹事の近藤です。本日はよろしくお願い致します。

さて、越谷北ロータリークラブさんは本年が 50 周年ということもあり、重要な行事が多々ございます。7 月 30 日は越谷ジュニア甲子園野球大会、9 月 28 日は越谷市民まつり、12 月 5 日は須賀副会長が取りまとめたくださっております IM 記念ゴルフ、そして 1 月 31 日は関森実行委員長が陣頭指揮をとっているインターシティミーティングがあります。越谷北ロータリークラブはホストクラブとなります。皆様、この日程は確保して頂き、必ず出席をお願い致します。

まだまだ未熟者ではございますが、第 8 グループの 4 つのクラブの事業が円滑に、そしてより結束を深められるように尽力していきたいと思ひます。皆様には多大なる

ご支援ご協力を頂くこととなりますが、一年間何卒よろしくお願い致します。

雑誌記事紹介



深野 秀和 会員

「RI の DEI について」(※ロータリーの友 6 月号より)

今年 1 月、ドナルド・トランプ氏がアメリカ大統領に復帰。前政権の政策を転換し、アメリカ人が培ってきた”良き時代の常識”に戻そうと、次々と大統領令を出している。時代はグローバリズムから反グローバリズムへ、リベラリズムからポストリベラリズムへと政治的パラダイムシフトが起きつつある。そうした中、特にロータリーと関係深いのは、世界保健機関(WHO)からの脱退表明と、政府による DEI プログラムの廃止である。

そもそも DEI(多様性、公平さ、インクルージョン)という言葉は、雇用における多様性を高め、公平な社会をつくるという考えを広めようとして使用されたものだ。耳当たりはいいが、現状は数値目標が設定され、人種や性別などの割合が調整されることで、かえって組織に不都合が生じるケースもあると聞く。私自身もマイノリティーを否定するつもりはなく、だれでも平等な権利を与えられるべきと考えるが、行き過ぎた DEI の推進は危険だと申し上げたい。

ロータリーに初めて DEI 関係の案件が登場したのは、2018 年 10 月の RI 理事会の男女平等に関する方針声明についての調査要請であろう。つまり女性会員の増強を推進するための方策と見る。そして翌 19 年 1 月の RI 理事会では、多様性と公平さにインクルージョンを加えた方針声明を承認。さらに 23 年 6 月までにロータリー内の女性の割合を 3 割にする目標が採択されてい





る。

それ以降の RI の DEI 推進の在り方を見るに、私は DEI の高い理想とは別に、本当の目的は女性会員の増強と会員の退会防止にあるように思われてならない。そのために DEI を錦の御旗にしようという発想が透けて見える。

しかし、ここでよく考えていただきたい。DEI が推進される以前のロータリーは、本当に多様性も公平さもインクルージョンもない組織であったのだろうか。ロータリーの誕生を振り返る時、創始者ポール・ハリスは何でも心から話し合える仲間がほしいと考え、多様な職業人を集めて、ロータリーを創設した。ロータリーは、そのフェロウシップ(親睦)に基づいたクラブ運営を続けてきたのではないだろうか。

さらに、「ロータリーの目的」にある奉仕の理念(The Ideal of Service)について、初代事務総長チェスリー・ペリーは「他人のことを思いやり、他人のために尽くすこと」と述べている。つまり、ロータリーは当初から、思いやりと親睦の精神を基盤としており、今さら DEI を基本に据えなければ、組織が保てないということではあるまい。アメリカでも賛否があり、地に足のつかない DEI を、RI 本部から言われるままに進めるのではなく、ロータリーが大切にしてきた価値観を再考し、改めて主張すべきではないだろうか。

ガバナー補佐卓話



RI2770 地区第 8 グループ

ガバナー補佐 大熊 正行 様

「50 周年に因んで」

「50 周年に因んで」ということで、何か話してほしいと

のことでしたので、40 周年の会長を務めさせていただいた立場としてご指名を頂いたと思います。私なりに少々話をさせて頂きたいと思います。

今から当然のことながら丁度 10 年前に越谷北ロータリークラブ会長に就任しましたのが、2015 年 7 月でした。そして 40 周年記念式典を挙行了したのが翌年の 2016 年 5 月 14 日(土)でした。浦和ロイヤルパインズホテルにて当クラブ会員及びご夫人、そして来賓、姉妹クラブ、友好クラブ、第 8 グループ内各クラブ会員、並びに 2770 地区内役員及び友情出席者など総勢 190 名あまりでの開催でした。

この 40 周年記念式典は 5 年前に行うはずだった 35 周年記念式典が、その年の 3 月 11 日にあったあの「東日本大震災」の 2 ヶ月後の 5 月に行われるはずでしたが、日本中を震撼させてあらゆる催事やイベントなどがごとく中止・縮小、延期されてお祝い事などやっている場合じゃないというムード一色になってしまいやむなく中止となってしまいましたので、実質的には 10 年ぶりの記念式典となりましたことと、40 周年という周年ということもありまして盛大にやりたいとの思いから、30 周年以降の積立金と 35 周年の予算もほとんど使わずに残っていたこと、併せて当時の会員の皆さんからも 2 年半(上期・下期の 5 半期)分の周年積立金及び当日の招待者の登録料も含めてですが総額 11,000,000 円という巨額の予算を使わせていただきました。お陰様で盛大でにぎやかに和やかに開催できまして、会員も招待客の皆さんも大変楽しんでいただけたものと強く感じさせていただきました。

毎回、周年の年度では周年実行委員会というものを前年もしくは前前年から準備委員会という形で立ち上げて準備をはじめ、周年の当該年度では実行委員会という形にして組織として動き出し準備万端にして式典当日を迎えます。

私の年度の 40 周年では 5 部会の委員会を組織して実行委員長に会長・幹事のコンビの時から強い絆でつながっていた関森会員に実行委員長を、そしてその当時の信頼できる適任者の方に 5 部会の委員長を、会計に鈴木英男会員にお願いし、お任せ致しました。併せ



パスト会長卓話



青木 清 パスト会長

「越谷北 50 周年について」

今、大熊さんの方から 40 周年の記念式典で、記念式典とはこういうものだとして理解して頂いたと思います。記念式典はやはりクラブの会員の楽しみの一つ、そしてまたはじめ、節目が大事だと思います。

最初の式典は、当クラブが発足した 1976 年昭和 51 年 5 月 26 日 RI 加盟承認後の 77 年、昭和 52 年 4 月 16 日栄進中学の体育館でチャーターナイトを開催した時です。その後、10 年に一度創立記念式典を行ってきました。これとは別に、RI の方では一世紀の 4 等分、25 年、50 周年、75 周年、100 周年を記念日としているようです。当クラブが 25 周年の時は、丁度小林ガバナエレクトが会長の時でした。その時は実行委員の副委員長を仰せつかりまして、微力ながら務めさせて頂きました。そのあとは 30 周年がありました。この時は、実行委員長をやらせていただきました。お金もあまりかけられなかったのですが、知り合いを通じてオーストリアの音楽の学校の先生がいまして、その方に出演して頂いたり、ロータリーのイベントの会社に色々相談したり協力してもらったりしていました。2 年前の越谷南の 50 周年は非常に盛大だったのですが、イベント会社の力もあったのかと思います。

今年度は一世紀の半分である 50 年クラブの事業となります。こういう周年事業は大切にみんなで協力して楽しみながらできたら良いと思っています。

以上です。一つよろしく申し上げます。どうもありがとうございました。

て 7 名の各責任者の方たちで、自分ではその 7 名の方たちを心の中で七奉行と思っていました。そしてその後ろ盾のアドバイザー的存在として、伊藤直前幹事の会社(トハン)の創業者であり当クラブの重鎮のお一人でご意見番でもあった小河内梅幸さんに相談役をお願いしておりました。いわゆる七奉行を取りまとめる「大老」のようなお立場としてその役についていただきました。が、しかしながら大変残念なことに記念式典の当日を迎えることが出来ずにお亡くなりになってしまいました。小河内さんには色々なことを教えていただきました。そして時には厳しいお叱りも受けたことも有りましたがそれも自分を育ててくれようとしての慈愛を込めたお叱りだったりアドバイスだったりのものでした。

そしてもう一方、忘れてならないのが記念誌部会委員長をお願いしていたのが、第 38 代会長を歴任された今は亡き石川輝次さんです。38 代会長は無事に務められてその当時から記念誌部会委員長をお願いしておりましたが、会長を終えるころからは病が徐々に体を蝕んできてその翌年の松崎会長年度の頃からはだいぶ容体も悪くなっていき、例会にも出席がままならないという体調になってしまいとても記念誌作成に携われないと申し出が有りました。記念誌部会委員長の名前と立場はそのままにして、実務的なことを中心になってやってくれたのが時の会報委員会委員長の江口直前会長でした。まだその当時入会して 3 年目(実質 2 年半)くらいでした。最後に見事に立派な記念誌を完成させてくれました。

この越谷北ロータリークラブに在籍するすべての会員は、何かしらの役割を与えられて、どこかの委員会に所属していて、50 周年事業や式典当日もいずれかの役割を担って、クラブの大きな節目の 50 周年という記念すべき年度に関われることに喜びと感謝の気持ちを持って一年間携わっていただきたいなと心から思います。

閑年度会員一丸となって、50 周年を成功させましょう。そして思い出に残る良い一年だったと言えるように頑張りましょう。



スマイル報告😊

- ・本日は、自クラブ越谷北ロータリークラブさんへ表敬訪問という形でお邪魔させて頂きました。本日宜しくお願い致します。

RI2770 地区第 8G ガバナー補佐 大熊 正行 様

- ・本年度 1 年間、ガバナー補佐幹事を務めさせて頂きます。大熊ガバナー補佐共々よろしくお願い致します。

同 ガバナー補佐幹事 近藤 慎悟 様

- ・本日は例会中の貴重なお時間いただきありがとうございます。一緒に市民まつりを盛り上げていければ幸いです。

一般社団法人越谷青年会議所 理事長 吉田 将光 様

- ・第 8 グループガバナー補佐大熊様、補佐幹事近藤様ようこそ。吉田理事長をはじめとする越谷青年会議所の皆様ようこそ。

須賀 篤史

- ・越谷青年会議所理事長吉田様、専務理事林様、副理事長厚川様、委員長遠藤様、国際ロータリー第 2770 地区第 8 グループガバナー補佐大熊様、ガバナー補佐幹事近藤様ようこそ。関会長、無事ご出産が叶いますように!

新沼 徹

- ・①第 8G ガバナー補佐大熊正行様、補佐幹事近藤慎悟様、1 年間よろしくお願い致します。②お客様いらっしゃいます。③青木清会員、本日の卓話よろしくお願い致します。

鈴木 英男

- ・お客様ようこそ。大熊ガバナー補佐、青木会員本日卓話楽しみにしてます。

市川 洋和

- ・大熊ガバナー補佐、近藤ガバナー補佐幹事様ようこそ! お客様ようこそ!

大濱 裕広

- ・第 8 グループガバナー補佐大熊正行様、ガバナー補佐幹事近藤慎悟様、越谷青年会議所の皆様ようこそいらっしゃいます。

松崎 義一

- ・お客様ようこそ。大熊ガバナー補佐、本日御指導宜しくお願いします。

関森 初義

- ・越谷青年会議所の皆さん、本日もごろう様です。

青木 清

- ・前回欠席して申し訳ありません。

青木 清

- ・お客様ようこそ。大熊ガバナー補佐、本日は宜しくお願い致します。

深野 秀和

- ・大熊ガバナー補佐ようこそ。

酒井 新樹

- ・お客様ようこそ。50 周年にちなんだ卓話、楽しみです。よろしくお祈りします。

平 涼子

- ・越谷青年会議所吉田理事長と理事の皆様ようこそ!

深野 秀樹

- ・欠席続きですみません。本日宜しくお願いします。

渡辺 裕介

- ・お客様ようこそ。本日宜しくお願いします。

今井 英治

- ・本日も宜しくお願い致します。

佐藤 要

- ・本日早退します。申し訳ございません。

江口 公晴

- ・本日もよろしくお願いいたします。

石井 秀治

- ・本日もよろしくお願い致します。

藤田 学

- ・本日例会宜しくお願いいたします。お客様ようこそいらっしゃいました。

中村 隆雄

- ・本日も宜しくお願い致します。

伊藤 純

出席報告

会員数	50 名
出席者	29 名
出席率	63.0 %

- 8 -



◇ 第 16 回 越谷ジュニア甲子園野球大会

第 2384 回例会 例会記録
至:越谷市民球場

2025 年 7 月 30 日(水)8 時より、越谷市民球場にて
第 16 回目となる越谷ジュニア甲子園野球大会が開催
されました。

会長挨拶



関 雄二郎 会長

皆様、おはようございます。第 8 グループの皆様こう
して顔を合わせ、共にこの時間を過ごせることを大変うれ
しく思います。また、ご多用の中、早朝よりご参加いた
だき、心より感謝申し上げます。

さて、本日は地元越谷に関わる非常に嬉しいニュース
について、一言ご報告させていただきます。既にご存知
の方も多いと思いますが、越谷市の叡明高校が、今夏の
甲子園出場を決めました。埼玉大会決勝では、強豪・昌
平高校を 5 対 2 で破り、見事に初出場。

越谷市からの出場は、1995 年の越谷西高校以来、約
30 年ぶりという歴史的快挙です。選手たちのひたむきな
姿勢、仲間を信じて挑戦を続けた日々、親御さん、関係
者、指導者含め一人では出来ない偉業です。その背中

は、まさにロータリアンの姿勢そのものではないかと感じ
ました。

私たちもまた、地域のため、次世代のために、見返り
を求めずに奉仕の心を持ち続けて活動しています。その
姿が、今日もこうしてジュニア甲子園野球大会の開催と、
いつか子どもたちの「お手本」になり、また新たな地域の
輪を生むと信じています。

しかしながら開催にあたり主催者であるロータリークラ
ブの会員の皆様との共有事項として確認したいと思います。
地域スポーツ等大勢が集まるイベントなどは事故が
起こらないようにガイドラインがございます。具体的には
35 度以上の場合、当日の会場での計測により試合の中
止・順延を判断する等、全日本野球連盟で推奨されて
おります、クラブとして学校側と協議し休憩室を用意する
こととなりましたが、参加している皆さん、親御さん、関係
者など決して無理をさせてはならない天候が続きますの
で、皆様と共有して無事に大会が開催されることを祈念
しております。

また、こうした大きな節目に際して感じるのは、「クラブ
の力」だけではなく、「第 8 グループというつながり」の大
切さです。他クラブとの情報共有や共同事業、また地区
活動への協力など、このグループの結束は、ロータリー
の理念を実践するうえで大きな支えとなっています。甲
子園を目指した叡明高校の選手たちが「チーム力」で勝
ち上がったように、私たちもまた、クラブの垣根を越えて
力を合わせ、地域に対してより良い影響を与えていける
と信じています。今後もこの第 8 グループが、互いに支
え合い、刺激し合いながら、「地域に根差すロータリー」
として活動を発展させていけることを願ってやみません。
そしてその姿が、若い世代や次世代ロータリアンに受け
継がれていくことを、心から期待しています。

結びに、16 回を迎えた越谷市営球場の素晴らしいグ
ランドで中学生全員が試合を体験して欲しいと当初の理
念を引き継いで今があります。そして埼玉県越谷を代表
して叡明高校野球部の甲子園での健闘を祈るとともに、
各クラブの皆さまのますますのご活躍と、友情の輪がさら
に深まることを願って、私のご挨拶とさせていただきます。



幹事報告



新沼 徹 幹事

(地区より)

- ・8月1日(金)第1回ロータリー財団オンライン勉強会【開始時間変更のお知らせ】が届いております。2025年8月1日(金)18:00~19:00(※開始時間が変更となっております)。該当者の方々へはメールにて詳細をお送りさせて頂いております。
- ・国際ロータリー第2770地区 第8グループガバナー 補佐大熊正行様、越谷ロータリークラブ様、越谷南ロータリークラブ様、越谷東ロータリークラブ会長隅田諭司様よりお祝いを頂戴致しました。誠に有難う御座いました。

(クラブより)

- ・杉本さん、小池さんの入会がご承認となりました。次回、8月6日の例会開始前の12時20分より入会式を行います。皆様方、お集まり頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

お客様挨拶

RI2770 地区 第8グループ
ガバナー補佐 大熊 正行 様

皆さん、おはようございます。早朝よりお集まりいただきまして大変ご苦労様でございます。まずもって、越谷北ロータリークラブの皆様にご挨拶申し上げます。誠にありがとうございます。また、本日は第16回越谷ジュニア甲子園野球大会が盛大に行われますこと、誠にありがとうございます。

確か記憶によりますと、最初が2009年でしたかね。長嶋年度に越谷北高校のグラウンドでデモンストレーションとして越谷北野球部の練習を見ながら、一部の中学生が試合をしたというのが始まりで、正式には2010年の堀野年度の時からだったかと思います。トーナメント形式で多数の中学生が集まって優勝を決めるという大会になりました。そんな中で、コロナの時期も中断をすることなく本日16回を迎えるということで誠にありがとうございます。

皆様もご存じのように、先ほど会長のあいさつにもありましたけれども、年々暑くなっておりまして、大会の準備や開催運営に関して非常に神経を使うところも出てきていると思います。この大会が子供たちにとっても皆様にとっても大変実りある良い大会になりますことをご祈念いたしまして、簡単ではございますけれども挨拶に代えさせていただきます。本日はありがとうございました。



越谷ロータリークラブ 会長 瀧田 貴夫 様

皆様おはようございます。越谷ロータリークラブ本年度会長を務めます瀧田でございます。ジュニア甲子園野球大会16回の開催おめでとうございます。

私が入会して2,3年目の時にRLIを受けたことがあります。色々な部屋を1時間ごとに回って様々なテーマ



で話すのですが、その時に「あなたのクラブの一番の自慢の事業は何ですか」というテーマで話し合いの時に、吉澤晴雄先輩と同じ教室でした。その時、吉澤晴雄先輩が「越谷北クラブにはジュニア甲子園野球大会があって、設立の経緯がどうで～」と、すごく熱く語られていました。内容は忘れてしまったのですが、熱い思いだけは覚えておりまして、その大会の開会式に本日参加できてとてもうれしく思います。

そのような中で、甲子園に出る選手が生まれたということも本当喜びもひとしおなのだろうと思います。本大会の益々のご盛会を祈念致しまして、挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。



越谷南ロータリークラブ 幹事 盛下 元 様

越谷南ロータリークラブ幹事の盛下と申します。よろしくお願いいたします。本日は当クラブの長澤会長に所要がございまして参加できませんものですから、私のほうからご挨拶させていただきます。長澤会長の方から、メッセージを預かっておりますので、代読させていただきます。

●越谷南ロータリークラブ 長澤幸義会長より

開会長はじめ、越谷北ロータリークラブの皆様、第16回ジュニア甲子園野球大会の開催誠にありがとうございます。大谷翔平選手の活躍もあり、野球に興味を持つ子供たちも増えてきていますね。これからも野球の街越谷として盛り上げていき、いつかこの地からメジャーリーガーが生まれることを一緒に夢みたいと思っています。本日も35度を超える暑さが予想されていますので、熱中症などお気をつけください。あいにく、本日は半年前から予定が入っており出席できず申し訳ありません。大

会の成功を心よりお祈りしています。

私自身、越谷南ロータリークラブ入会してまだ5年ぐらいなのですが、他クラブ様の事業参加させていただくのは初めてです。

越谷北クラブさんの方では、元々開催されました柔道大会があると思います。事業の方はクラブさんの方から離れているとお聞きしているのですが、先日参加させて頂きまして、かなり大きな刺激を頂きました。地域の奉仕事業として、またクラブ以外からの刺激を頂いた形になりました。本日も野球大会、新しい刺激を楽しみにしながら、一緒に盛り上げていきたいなと思っております。また、本日の内容を会長やクラブに持ち帰りまして、より良い事業になるよう参考にさせて頂き、第8グループとして盛り上げていきたいと考えております。私の挨拶は以上となります。

本大会のご成功を祈念いたしております。



越谷東ロータリークラブ 会長 隅田 諭司 様

皆さん、おはようございます。越谷東ロータリークラブの会長をつとめております隅田諭司と申します。まずは、第16回越谷ジュニア甲子園野球大会、盛大に行われますことを心よりお祝い申し上げます。そして、開催にあたりまして、準備などご尽力されましたご関係者の皆様、心より敬意を表します。

広々としたグラウンドで、野球ができることに感謝したいということを、選手代表で中学の生徒が述べていました。参加された中学生の皆さんが、心からそう思っているのだと思います。保護者の方や関係者の皆様に感謝してプレイされたことだと思いますけれども、世界を見渡し



た時に、このような平和な環境で、全力でスポーツに集中してプレイできるということがどんなに幸せなことかというのを噛み締めていることかと思います。この環境を作り出している、越谷北クラブの皆さんに、本当に心から尊敬の念を表したいと思います。

私たちも、同じような趣旨で高校野球大会を秋に開催させて頂いておりまして、ともに刺激しあいながら、これからも青少年の健全育成のためにがんばっていききたいと考えております。今日このようにご一緒できたことをクラブに持ち帰ります。クラブの方の出席率もすごいので、私たちも負けていられないと思いました。

皆で作上げていく野球大会、歴史を重ねていききたいと思います。

本大会の盛大な成功をご祈念しておりますので、よろしくお願い致します。ありがとうございました。



私立獨協埼玉中学校野球部顧問 清水 勲 様

皆さん、おはようございます。始球式、関会長の勢いあまるボール素晴らしかったです。ありがとうございました。

今回 16 回を迎えるのですが、ジュニア甲子園野球大会を実施して頂き本当にありがとうございます。これまでも色々と話になっています。叡明高校の甲子園出場なのですが、我々野球部顧問も非常に嬉しく思っています。地元から出ているということも嬉しいのですが、例えば叡明高校以外の強豪といわれる浦和学院、花咲徳栄、昌平、このあたりのメンバーの出身中学を見ると、市外はもちろん県外ばかりです。ですが、叡明高校は、越谷市の選手たちも沢山いますし、近隣の学校から出ているものも沢山います。そういった選手たちが

甲子園の道を開いてくれたのが本当に嬉しいです。

叡明高校のキャプテンをやっている根本選手、富士中学校出身の選手です。中学時代もピッチャーとして大活躍して全国大会にも出場していました。他にも 11 番の田村選手は南中学校出身。14 番山口選手は中央中学、20 番鈴木選手も中央中学出身です。20 名の中に軟式野球出身が 4 人もいます。他にも軟式野球出身の選手たちが数多く在籍していて、その者たちが本当に道を開いてくれたことがすごく嬉しくて、我々野球部顧問も甲子園応援に行くぞと盛り上がっています。

こんなこと言ったら大げさかもしれませんが、その選手たちもジュニア甲子園野球大会を経験しています。もし、この大会がなかったら、彼らの運命が変わっていたかもしれません。野球に対する情熱が今以上になくて、叡明高校にも進学していないかもしれない、甲子園にも出場していないかもしれない、そんなところまで考えてしまうほど、このジュニア甲子園野球大会の存在はすごく大きいものです。

子供たちは新チームになってジュニア甲子園野球大会が最初の大会です。我々にとっても最初の大会で、ようやく夏がきたという気分です。保護者の方々もすごく楽しみにしていますし、この市民球場で野球をやれるというのは本当に大きな喜びなのです。

以前まではこの大会がないときは、3 年間中学野球を在籍をしていて、この素晴らしい市民球場に足を踏み入れることなく引退した選手が沢山いました。でも、この大会があることによって、このグラウンドで野球を経験することができて、喜びを感じて、野球の熱がもっと高まって、頑張ろうと思える選手が沢山出ることになりました。そういう意味でも本当に感謝しております。

6 日間、今日から開幕ですが、今はもう猛暑・酷暑といった中での開催です。今日も 37 度ぐらいまであがるのではないかなと思っていますので、とにかく選手たちの安全面・健康面を注意しながら無事に運営できるように我々の方も細心の注意を払っていきます。

どうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございます。



◇ 会場の様子



今年も盛大に大会が開催されました。



開会式が始まります。所定の位置に移動しました。



会員の皆様も所定の位置に向かいました。



電光掲示板には大きく、第16回越谷ジュニア甲子園野球大会と掲載されていました。



社会奉仕委員長今井会員の挨拶から始まりました。



優勝旗の返還がされました。



開会長が選手たちに向け、熱いメッセージを送りました。



越谷市長の福田晃様から祝辞を頂きました。暑い中、ご訪問頂きありがとうございます。





越谷市議会議長代理、菊池様から祝辞を頂きました。



選手宣誓が感謝の気持ちをもって盛大に行われました。



教育委員会教育長の野口様より祝辞を頂きました。



第1試合が始まろうとしています。



野球部顧問原田様より、諸注意がされました。



関会長による始球式が行われました。パワフルで勢いがある投球に会場が震え上がりました。



猛暑の中での水分補給を薦められました。熱中症に気を付けてがんばりましょう。



開会式にご参加された皆様、お疲れ様でした。

